

調査と統計

単位数(時間数) : 2 単位 (30 時間) 必修/選択 : 必修 履修年次 : 3 年次 開講時期 : 後期

科目責任者(職位・氏名) : 講師・牛渡亮

科目担当者(職位・氏名) :

対応DP : 基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号 : 6

■ 授業概要

保健医療の場や看護研究において必要となる統計学の基礎知識を学び、統計資料を理解し調査・分析を遂行する力を身につける機会を提供する。具体的には、調査手法の種類、表やグラフの読み取り方、推定と検定の考え方などを学習し、データの性質に応じた統計手法の選択・分析する能力の修得を目標とする。講義形式ではあるが、テーマ設定・調査法選択・調査実施・分析を体験しながら、調査手法と統計知識の定着を図る。

■ 到達目標

1. 調査の種類とそれぞれの特徴を理解する。
2. 個別の手法を利用することができる。
3. 各種調査・研究に対するリテラシーをつける。

■ 教育内容

科学的思考の基盤、人間と生活・社会の理解、保健統計学

■ キーワード

社会調査、量的調査、質的調査、EXCEL

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	イントロダクション：調査とは何か	仮説の設定	牛渡
2	調査の種類：質的調査と量的調査	各種方法体験	牛渡
3	質的調査の基礎	インタビューデータ分析	牛渡
4	量的調査の基礎	質問紙作成から打ち込みまで	牛渡
5	統計量と分布 I	Excel を用いた統計量と分布の操作	牛渡
6	統計量と分布 II	Excel を用いた統計量と分布の操作	牛渡
7	クロス表とカイ二乗検定 I	Excel を用いたクロス表とカイ二乗検定の操作	牛渡
8	クロス表とカイ二乗検定 II	Excel を用いたクロス表とカイ二乗検定の操作	牛渡
9	平均値の検定 I	Excel を用いた平均値の検定	牛渡
10	平均値の検定 II	Excel を用いた平均値の検定	牛渡
11	相関と回帰 I	Excel を用いた相関と回帰	牛渡
12	相関と回帰 II	Excel を用いた相関と回帰	牛渡
13	量的調査実践 I	実践例の紹介 (状況に応じた方法の選択)	牛渡
14	量的調査実践 II	実践例の紹介 (論文の読解と検討)	牛渡
15	議論と総括	まとめ	牛渡

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

授業後の提出物 40%、複数回の特別課題 60%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・レポート形式の課題は、試験前にセルフチェックポイントを公開するため、全体へのフィードバックを予定してはいない。希望者は、事前にアポイントメントをとったうえで、科目責任者の研究室を訪れること。

■ 教科書

なし。授業の進行は、毎回の配布プリントに沿う。

■ 参考書・参考資料等

- ・牧本清子他（2015）『標準保健師講座 別巻2 疫学・保健統計学 第3版』医学書院
- ・廣瀬毅士・寺島拓幸共編（2010）『社会調査のための統計データ分析』オーム社

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

1 授業につき、計2時間程度の学習内容の復習または提出課題が必要である。授業時配付資料、実演ビデオなどを参考に、方法論的な理解と実践のための演習に努めること。積み上げ式に、後の学習内容の前提となるため、事後学習に注力すること。

■ 担当教員からのメッセージ

話を聞いているだけでは身につかない科目ですので、実際に挑戦しながら学びましょう。各種方法の実践のなかで知識の定着を図る機会を設けますので、自分で試行錯誤しながら理解を深めていきましょう。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 21、ushiwata★iwate-uhms.ac.jp

オフィスアワーは特に定めませんが、事前に連絡してから訪問してください。

(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験

無

■ 担当教員の実務経験

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容